

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 7月 31日※1
(前回公表年月日: 令和 6年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (エステティシャン)	平成29年文部科学大臣 認定	-																							
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																										
認定年月日	平成30年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2 年	昼間	1710	720	990	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240	34人	0人	8人の内6人	38人の内16人	46人の内22人																						
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。																							
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月26日~1月5日 ■春季: 3月21日~4月10日		卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) TBCグループ株式会社、株式会社不二ビューティ、株式会社ソシエ・ワールド、株式会社スリムビューティハウス その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 24 人 ■就職希望者数 24 人 ■就職者数 24 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野 (エステティック業界) への内定率100% (就職希望者) (令和 6 年度卒業生に関する 令和7年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>AEA上級認定 エステティシャン</td><td>③</td><td>24人</td><td>24人</td></tr><tr><td>ダイエット検定2級</td><td>③</td><td>24人</td><td>24人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA上級認定 エステティシャン	③	24人	24人	ダイエット検定2級	③	24人	24人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
AEA上級認定 エステティシャン	③	24人	24人																								
ダイエット検定2級	③	24人	24人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 4 名 令和6年4月1日時点において、在学者44名 (令和6年4月1日入学者を含む) 令和7年3月31日時点において、在学者40名 (令和7年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)		■中退率 9.1 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

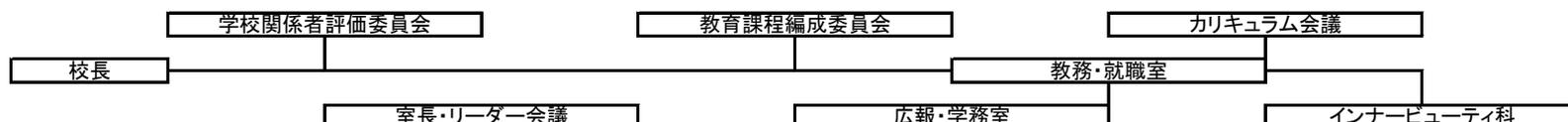
- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ビアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和6年度】第1回 令和6年9月20日 15:00～16:00 第2回 令和7年3月18日 13:40～14:40

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 14:40～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化

- 1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化

- 心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
- 1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
- 2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

- 各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
- また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化

- 姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。教務就職室として担任を中心に全職員が分担して学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
- 更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

■日直制度導入

- 自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会では当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。3月18日第2回委員会ではシラバス・授業内容の改善・検定合格率についての報告と企業連携科目の審議を実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとでAからDの4段階評価を行う。授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間: 令和6年5月 対象: ネイル職員1名

内容: ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイリスト協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間: 令和6年6月 対象: プライダル職員1名

内容: フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

AEA認定講師勉強会

期間: 令和6年8月 対象: エステティック職員2名

内容: 実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定校勉強会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間: 令和7年3月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間: 令和7年3月 対象: アロマ職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名

内容: クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名

内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和7年3月 対象: 職員全体

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和7年5月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間: 令和7年6月 対象: エステティック職員1名

内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間: 令和7年7月 対象: アロマ職員1名

内容: 耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和7年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和7年12月 対象: 職員1名・エステティック職員2名

内容: 学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間: 令和7年12月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間: 令和5年8月 対象: 職員1名

内容: 新任教職員の指導・育成力を高める/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間: 令和5年9月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和5年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年10月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期:令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 エステティシャン専攻)2025年度												
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択				講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気付きや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○	○
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○	○
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立つ。	1通	60	○			○	○
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○	○
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通・2前	45	○			○	○
6	○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通・2通	105	○			○	○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前・2前	30	○			○	○
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○	○
9	○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選べるようになることが目的です。	1後・2通	45	○			○	○

21	○	エステティック ボディ実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の身体悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1 後・ 2 前	120	○	○	○	○	○	○	○
22	○	エステティック フェイシャル 実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の肌悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1 後・ 2 前	180	○	○	○	○	○	○	○
23	○	エステティック 応用実技	エステティシャンとして即戦力として対応できる知識を学んでいくことが応用実技の目的です。主にエステティックに必要な、あらゆるボディオプションや機器・技術の向上を目指します。	2 後	75	○	○	○	○	○	○	○
24	○	サロン運営	学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリングと必要な技術の提案後、技術提供してから自宅でのアドバイスや施術の必要な来店頻度などを一連の流れに沿って実践します。定期的に一般のお客様をお呼びし、代金を授受できる学生サロンを開き、実践力を身につけます。	2 通	180	○	○	○	○	○	○	○
25	○	ダイエット 実習	サロンにおいてダイエットや瘦身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていけるように目指します。	2 後	15	○	○	○	○	○	○	○
26	○	アロマベーシッ ク	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1 前	15	○	○	○	○	○	○	○
27	○	ヨガベーシッ ク	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1 前	15	○	○	○	○	○	○	○
28	○	リフレクソロ ジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	○	○	○	○	○	○	○
29	○	アロマコーディネ ーターライセンス検 定 対策	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法、試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。様々な精油の身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きを学びます。	1 後	45	○	○	○	○	○	○	○
30	○	メイク&ヘア アレンジメント 実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 前	45	○	○	○	○	○	○	○
31	○	アウター ビューティ レッスン	1年時はメイクアップとヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。	2 後	45	○	○	○	○	○	○	○

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 7月 31日※1
(前回公表年月日: 令和 6年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (アロマ&セラピスト)	平成29年文部科学大臣 認定	-																							
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																										
認定年月日	平成30年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2 年	昼間	1710	480	1230	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240	15	0人	8人の内6人	38人の内19人	46人の内25人																						
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。																							
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月26日~1月5日 ■春季: 3月21日~4月10日		卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 株式会社オリーブスパ、株式会社リフレッシュ、株式会社アンピール その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業者数 11 人 ■就職希望者数 11 人 ■就職者数 11 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野 (リラクゼーション業界) への内定率100% (就職希望者) (令和 6 年度卒業者に 令和7年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業者に 令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>リフレクソロジー® ロイヤル実技士</td><td>③</td><td>11人</td><td>8人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	リフレクソロジー® ロイヤル実技士	③	11人	8人												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
リフレクソロジー® ロイヤル実技士	③	11人	8人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 2 名 令和6年4月1日時点において、在学者26名 (令和6年4月1日入学者を含む) 令和7年3月31日時点において、在学者24名 (令和7年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)		■中退率 7.7 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

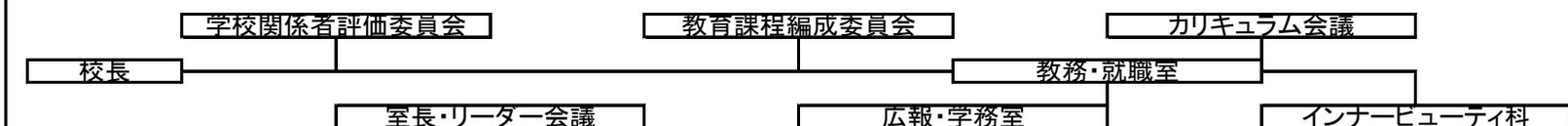
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。

委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。

・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和6年度】第1回 令和6年9月20日 15:00～16:00 第2回 令和7年3月18日 13:40～14:40

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 14:40～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化

- 1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
- さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化

- 心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
- 1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
- 2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。

また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化

- 姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
- 教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
- 更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

■日直制度導入

- 自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を实

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラーージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間: 令和6年5月 対象: ネイル職員1名

内容: ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイリスト協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間: 令和6年6月 対象: プライダル職員1名

内容: フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

AEA認定講師勉強会

期間: 令和6年8月 対象: エステティック職員2名

内容: 実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定校勉強会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間: 令和7年3月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

② 指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名

内容: クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名

内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和7年3月 対象: 職員全体

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間:令和7年5月 対象:エステ、ネイル職員2名

内容:エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間:令和7年6月 対象:エステティック職員1名

内容:エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間:令和7年7月 対象:アロマ職員1名

内容:耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステ職員2名

内容:AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員1名・エステティック職員2名

内容:学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間:令和7年12月 対象:エステティック職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

新仕指導力(メンタリング)

期間:令和5年8月 対象:職員1名

内容:新任教職員の指導・育成力を高める/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間:令和5年9月 対象:職員1名

内容:リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間:令和5年8月 対象:職員2名

内容:専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間:令和5年10月 対象:職員8名

内容:働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え 適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
 早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<p>ているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

〔ホームページ〕・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 アロマ&セラピスト専攻)2025年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○			○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○				○	
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○			○		
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○			○		
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通	30	○			○				○	
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通・2通	60	○			○				○	○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○			○				○	
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○			○		

19	○		アロマセラピー	1年時はアロマセラピーの基礎理論を中心に学びます。お客様に提案するための知識や香りを安全に活用する方法を中心に学び授業終了時に「アロマコーディネーター」資格取得に向け試験を受験します。2年時は1年生で学んだ基礎と復習の後、香りと心理の関係性やお客様に香りを提案する際のカウンセリングスキル向上を目標に施術での取り入れ方や香りの選定方法を実践して学びます。	2通	60	○	○	○	○
20	○		リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	1前・2通	135	○	○	○	○
21	○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	○	○	○	○
22	○		ヨガ・ピラティス	1年時はピラティスを中心に学びます。身体と精神のコントロールを体験しながら習得し、精神的疲労感を軽減する技術や知識を学びます。2年時はヨガを中心とした授業を学び、レベルに合わせたポーズの提案や正しい体感づくりについて指導ができるよう学びます。それぞれのポーズにおいてもより正確さと方法を伝授できるまでを目標とします。いずれもヨガ・ピラティスの運動による効果、効能や歴史などについても学び、それらを伝えられることも目標としています。	1後・2後	60	○	○	○	○
23	○		スパトリートメント	アールヴェーダ、ロミロミを中心に技術習得していきます。エステティック技術の応用となる技術であり様々な技術の体感や実践を通してお客様に合わせたコースの提案ができるように学習します。また、フェイシャル技術では、世界のスパで使用する化粧品を使い肌別に効果を体験し、知識を深めていきます。	1後・2通	180	○	○	○	○
24	○		ボディリラクゼーション	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に技術披露のできる状態が目標となります。	2通	90	○	○	○	○
25	○		リラクゼーションサロン	2年時は様々な技術習得をしていく中、セラピストの技術は基本となるため継続して学習していきます。リラクゼーションサロン授業では、一般のお客様に技術提供を行います。運営を通して技術力の向上と接客力の向上を目指します。技術力、接客力の向上を目指すと共に入社後の即戦力となれる様、1日の働きの理解と習得を目指します。	2通	180	○	○	○	○
26	○		エステティック実習	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1通	90	○	○	○	○
27	○		エステティックボディ実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の身体悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1後	60	○	○	○	○
28	○		エステティックフェイシャル実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の肌悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	2前	60	○	○	○	○

29	○	メイク&ヘア アレンジメント 実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 前	45	○	○	○	○				
30	○	ブライダル 概論	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1 前	15	○	○	○					
31	○	ウェディング スタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。	1 前	30	○	○	○					
32	○	ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強し、ネイルの基礎技術の習得をします。	1 前	45	○	○						
33	○	カラー デコレート	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。また、さまざまな体型に合わせたコーディネートの色とデザインから考えることで、自分のなりたいたいイメージに合ったトータルコーディネートをすることが出来るようになる。	1 前	15	○	○						
34	○	ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となるよう学習します。	1 通 ・ 2 前	60	○	○	○	○				
35	○	資格選択授業 メイク検定	JMA(メイク検定)3級合格に向けた授業です。 検定合格に向けた技術習得だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	1 後	30	○	○						
36	○	資格選択授業 ネイル検定	JNECネイリスト技能検定3級合格に向けた授業です。 検定合格に向けた実技の流れを理解、技術習得、ネイルケアの基礎を理解します。	1 後	30	○	○						
合計				36科目	1710	単位時間							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。		1学年の学期区分	2期
【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。			
2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全て(留意事項)		1学期の授業期間	15週

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 7月 31日※1
(前回公表年月日: 令和 6年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (メイクアップアーティスト)	平成29年文部科学大臣 認定	-																							
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																										
認定年月日	平成30年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1710	465	1245	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240	32人	0人	8人の内7人	38人の内22人	46人の内29人																						
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。																							
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月26日~1月5日 ■春季: 3月21日~4月10日		卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) ㈱コーセー、株式会社資生堂、エスティローダーカンパニーズ、 ㈱エキップ、㈱ザ・コスモス 他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、 企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 16 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 14 人 ■就職率 87.5 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 87.5 % ■その他 ・進学者数: 2人 ・関係分野 (メイク業界・エステ・ネイル) への内定100% (就職希望者) (令和 6 年度卒業生に関する 令和7年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定 等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>日本メイクアップ技術 検定1級</td><td>③</td><td>16人</td><td>13人</td></tr><tr><td>日本メイクアップ 技術検定2級</td><td>③</td><td>16人</td><td>16人</td></tr><tr><td>日本化粧品検定1級</td><td>③</td><td>15人</td><td>6人</td></tr><tr><td>メイクセラピー検定</td><td>③</td><td>16人</td><td>9人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③ のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得 するもの ③その他 (民間検定等) ■自由記述欄 ※1~ナ1				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	日本メイクアップ技術 検定1級	③	16人	13人	日本メイクアップ 技術検定2級	③	16人	16人	日本化粧品検定1級	③	15人	6人	メイクセラピー検定	③	16人	9人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
日本メイクアップ技術 検定1級	③	16人	13人																								
日本メイクアップ 技術検定2級	③	16人	16人																								
日本化粧品検定1級	③	15人	6人																								
メイクセラピー検定	③	16人	9人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 2名 令和6年4月1日時点において、在学者36名 (令和6年4月1日入学者を含む) 令和7年3月31日時点において、在学者34名 (令和7年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)		■中退率 5.6 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

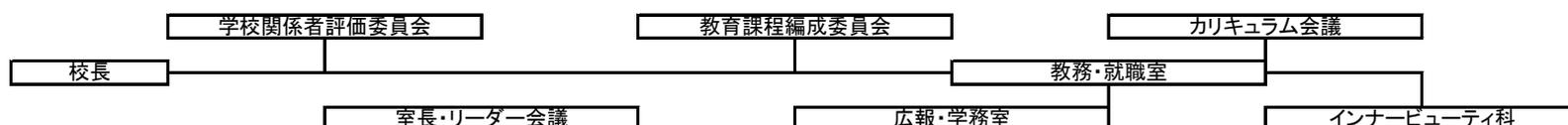
- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和6年度】第1回 令和6年9月20日 15:00～16:00 第2回 令和7年3月18日 13:40～14:40

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 14:40～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化

- 1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。さらに2年生ではより専門的な知識身に付け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化

- 心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
- 1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
- 2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に付けメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

- 各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
- また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化

- 姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。教務就職室として担任を中心に全職員が分担して学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
- 更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていこう予定。

■日直制度導入

- 自主性や自発性を身に付けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会では当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月18日第2回委員会ではシラバス・授業内容の改善・検定合格率についての報告と企業連携科目の審議を実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとでAからDの4段階評価を行う。授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間: 令和6年5月 対象: ネイル職員1名

内容: ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイリスト協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間: 令和6年6月 対象: プライダル職員1名

内容: フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

AEA認定講師勉強会

期間: 令和6年8月 対象: エステティック職員2名

内容: 実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定校勉強会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

② 指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名

内容: クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名

内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和7年3月 対象: 職員全体

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和7年5月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間: 令和7年6月 対象: エステティック職員1名

内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間: 令和7年7月 対象: アロマ職員1名

内容: 耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和7年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和7年12月 対象: 職員1名・エステティック職員2名

内容: 学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間: 令和7年12月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間: 令和5年8月 対象: 職員1名

内容: 新任教職員の指導・育成力を高める/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間: 令和5年9月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和5年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年10月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
 早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	<p>施設・設備は、教育上の必要に十分に対応できるよう整備されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 メイクアップアーティスト専攻)2025年度													
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択				講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外		専任
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気付きや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○		○		○	
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○		○		○	
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立つ。	1通	60	○		○		○	
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○		○		○	
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通・2前	45	○		○		○	
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通	30	○		○		○	○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくするための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○		○		○	
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○		○		○	

19	○	メイク	メイクの基礎をベースに、より実践的な悩み対策やトレンドの応用テクニックを学びます。決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。	2通	90	○	○	○	○
20	○	ヘアアレンジ	ヘアセットの基礎と髪の毛の構造について学びます。ヘアセットはアイロンの巻き方、ホットカーラーの巻き方、ヘアアレンジなどを実習で習得します。1年次のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用実技を習得します。	2通	90	○	○	○	○
21	○	メイク検定対策	1年次は、JMA(メイク検定)3, 2級合格に向けて学習します。技術はもちろん、相手に対しての気遣いやコミュニケーションがとれるようになることを目標としています。2年次は、JMA(メイク検定)1級合格に向けて、様々なパターンのメイクが出来るよう学習します。	1後・2前	150	○	○	○	○
22	○	スタジオ撮影プロジェクト	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。	2通	150	○	○	○	○
23	○	メイクカウンセリング	メイクセラピーの手法を学び、カウンセリングに必要な心理学や人間関係論、メイクアップに必要な印象分析とメイク理論、色彩学等の知識と技術を習得する。外見を美しくするのみでなく、受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドの擁立を目指す。	1後・2後	60	○	○	○	○
24	○	エステティック実習	エステシャンに必要なものは「知識」「技術」「おもてなしの心」です。エステシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら、エステシャンとして必要な挨拶や敬語、ご案内委の仕方、接客中の対応、掃除等をサロン業務を学んでいきます。笑顔で積極的にコミュニケーションがとれる人材を育成します。更に機器などを使用し、技術やカウンセリング、分析力の向上を目指し、お客様に合う化粧品を選択やアドバイスが出来るよう習得します。	1通	120	○	○	○	○
25	○	アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	○	○	○	○
26	○	ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	○	○	○	○
27	○	リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15	○	○	○	○
28	○	ブライダル概論	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1前	15	○	○	○	○

29	○	ウエディング スタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの 衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダル ビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。	1 前	30	○	○	○												
30	○	和装着付け	着物に関わる基礎知識や歴史から現在のブライダルで用いられる 和装の知識とともに実践では、浴衣の着付けを基礎から学び、最終 はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアメイクを施し和装のコー ディネイトを学びます。	2 前	45	○	○	○												
31	○	ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイル の専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・ JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分 野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと学習します。	1 通	105	○	○	○												
32	○	カラーデコレ ート	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず 自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいの かを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さま ざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身 につける。また、さまざまな体型に合わせたコーディネートの色とデ ザインから考えることで、自分のなりたいたいイメージに合ったトータル コーディネイトをすることが出来るようになる。	1 前・ 2 後	45	○	○	○												
33	○	パーソナルカ ラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について 総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を 客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パー ソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラー ージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策とし て、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	2 後	30	○	○	○	○											
34	○	ショー対策& コンテスト対策	そもそもファッションショーはどうやって作られているか？各会社の中 で、自身もイメージアップ、女性としての知識力向上ときれいな立ち 振る舞いをレッスンします。ショーでは、今まで学んだ内容を活かし、 発想力を高めチーム力を身に付けます。	2 後	15	○	○	○												
35	○	ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付け をすることで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となれるよう学習します。	1 通・ 2 前	60	○	○	○	○											
36	○	資格選択授業 アロマ検定	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また 日常生活で安全に活用できる実践的な方法、試験内容に準じた授 業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香り のエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより 豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。様々な精油 の身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きを学びま す。	2 後	45	○	○	○	○											
37	○	資格選択授業 ネイル検定	幅広い分野で活躍できるよう総合美容を目指しネイル技術を学習す る。主流となっているジェルネイルの知識と技術を習得し資格取得を 目指します。	2 前	45	○	○	○												
合計				37科目	1710	単位時間														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。		1学年の学期区分	2期
【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。			
2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全(留意事項)		1学期の授業期間	15週

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 7月 31日※1
(前回公表年月日: 令和 6年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(ブライダル)	平成29年文部科学大臣 認定	-																											
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																														
認定年月日	平成30年2月28日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2 年	昼間	1710	450	1260	0	0	0																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
240	26人	0人	8人の内7人	38人の内20人	46人の内27人																										
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。																											
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月26日~1月5日 ■春季: 3月21日~4月10日		卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																											
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和6年度卒業生) 株式会社ベストアニバーサリー、プリモ・ジャパン株式会社、株式会社曾我、株式会社ヴァンドームヤマダ、株式会社ニューアート・シーマ その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 11 人 ■就職希望者数 10 人 ■就職者数 10 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 91 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(ブライダル業界)への内定率80%(就職希望者) (令和 6 年度卒業者に関する 令和7年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>ブライダルコーディネーター3級</td><td>③</td><td>13人</td><td>11人</td></tr><tr><td>AEA認定エステティシャン</td><td>③</td><td>13人</td><td>13人</td></tr><tr><td>日本メイクアップ技術検定2級</td><td>③</td><td>13人</td><td>13人</td></tr><tr><td>ネイリスト技能検定3級</td><td>③</td><td>12人</td><td>12人</td></tr><tr><td>パーソナルカラー検定3級</td><td>③</td><td>12人</td><td>11人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ※1~ナ1				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター3級	③	13人	11人	AEA認定エステティシャン	③	13人	13人	日本メイクアップ技術検定2級	③	13人	13人	ネイリスト技能検定3級	③	12人	12人	パーソナルカラー検定3級	③	12人	11人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
ブライダルコーディネーター3級	③	13人	11人																												
AEA認定エステティシャン	③	13人	13人																												
日本メイクアップ技術検定2級	③	13人	13人																												
ネイリスト技能検定3級	③	12人	12人																												
パーソナルカラー検定3級	③	12人	11人																												
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 令和4年4月1日時点において、在学者22名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者21名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況・成績通知)		■中退率 5 %																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																														
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係性を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。
- 委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和6年度】第1回 令和6年9月20日 15:00～16:00 第2回 令和7年3月18日 13:40～14:40

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 14:40～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化

- 1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
- さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化

- 心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
- 1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
- 2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

- 各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。

また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化

- 姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
- 教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
- 更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

■日直制度導入

- 自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラーージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイル協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和6年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和6年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定校勉強会

期間:令和6年12月 対象:職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間:令和7年3月 対象:エステティック職員1名

内容:認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間:令和7年3月 対象:アロマ職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和7年5月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間: 令和7年6月 対象: エステティック職員1名

内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間: 令和7年7月 対象: アロマ職員1名

内容: 耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和7年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和7年12月 対象: 職員1名・エステティック職員2名

内容: 学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間: 令和7年12月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間: 令和5年8月 対象: 職員1名

内容: 新任教職員の指導・育成力を高める/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間: 令和5年9月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和5年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年10月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
 早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・しているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

29	○	ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと学習します。	1通	105	○	○	○												
30			ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。																	
31	○	ブライダルネイル	ウェディングには欠かせないウェディングネイルの知識を勉強します。幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと学び、必要なカウンセリング、チップ制作を目指し爪と指先の知識をしっかりと習得していきます。そして、ジェル検定初級合格に向け勉強していきます。	2前	45	○	○	○												
32	○	カラーデコレート	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に行うことで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来るかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウェディングブーケや水引の技術も習得していきます。ウェディングプロジェクトで必要な会場装飾の作成やブーケなどの小物の製作を目標としています。	1前・2後	45	○	○	○												
33	○	ライフケアカラー検定対策	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。ブライダル業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。また、検定受験に向け、適宜問題集、小テスト(解説あり)を実施します。	2前	30	○	○	○	○											
34	○	パーソナルカラー検定対策	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2後	30	○	○	○	○											
35	○	ショー対策	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参加者に披露するため、ウォーキング、ポージングの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞い方やマナーを学び実践します。	2後	15	○	○	○												
36	○	ビューティプログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。社会人になった際の即戦力となるよう学習します。	1通・2前	60	○	○	○	○											
合計				36科目	1710	単位時間														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。		1学年の学期区分	2期
2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全て取得。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 7月 31日※1
(前回公表年月日: 令和 6年7月31日)

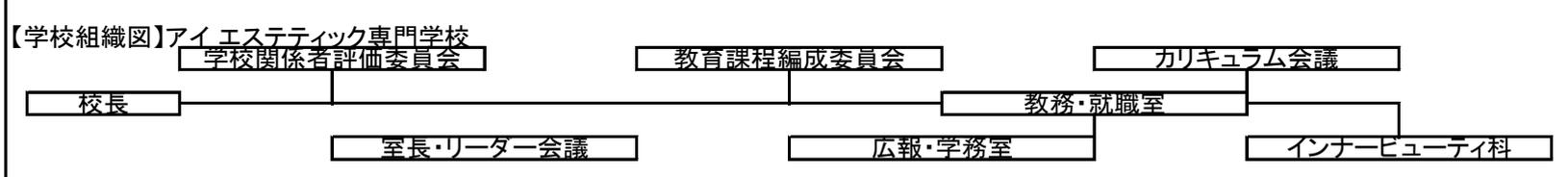
職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(ネイリスト)	平成29年文部科学大臣 認定	-																			
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																						
認定年月日	平成30年2月28日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1740	300	1410	0	0	0																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
240	42人	0人	8人の内6人	38人の内19人	46人の内25人																		
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。																			
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月26日~1月5日 ■春季: 3月21日~4月10日		卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和6年度卒業生) 株式会社ライフビューティ、株式会社ノンストレス、株式会社ネイルズユニークオブジャパン その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 14 人 ■就職希望者数 14 人 ■就職者数 8 人 ■就職率 57.1 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 57.1 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・関係分野(ネイル業界)への内定率100%(就職希望者) (令和 6 年度卒業者に関する 令和7年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>ネイリスト技能検定1級</td><td>③</td><td>13人</td><td>8人</td></tr><tr><td>ジェルネイル技能検定上級</td><td>③</td><td>13人</td><td>13人</td></tr><tr><td>パーソナルカラー検定3級</td><td>③</td><td>14人</td><td>14人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ネイリスト技能検定1級	③	13人	8人	ジェルネイル技能検定上級	③	13人	13人	パーソナルカラー検定3級	③	14人	14人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
ネイリスト技能検定1級	③	13人	8人																				
ジェルネイル技能検定上級	③	13人	13人																				
パーソナルカラー検定3級	③	14人	14人																				
中途退学 の現状	■中途退学者 3名 令和6年4月1日時点において、在学者33名(令和6年4月1日入学者を含む) 令和7年3月31日時点において、在学者30名(令和7年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況・成績通知)		■中退率 9.1%																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
 ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
 ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
 ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。
 委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
 ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 ②学会や学術機関等の有識者
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
 (年間の開催数及び開催時期)
 ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。
 (開催日時(実績))
 【令和6年度】第1回 令和6年9月20日 15:00～16:00 第2回 令和7年3月18日 13:40～14:40
 【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 14:40～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
 ■化粧品検定対策授業強化
 →1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。
 ■メイクカウンセリング授業強化
 →心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
 1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
 2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。
 ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー
 →各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
 また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。
 ■就職室から教務就職室へと体制強化
 →姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
 更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。
 ■日直制度導入
 →自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味を広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ネイル検定初級試験官養成講座

期間: 令和6年5月 対象: ネイル職員1名

内容: ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイル協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間: 令和6年6月 対象: プライダル職員1名

内容: フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

AEA認定講師勉強会

期間: 令和6年8月 対象: エステティック職員2名

内容: 実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定校勉強会

期間: 令和6年12月 対象: 職員2名

内容: エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間: 令和7年3月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間: 令和7年3月 対象: アロマ職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名

内容: クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名

内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和7年3月 対象: 職員全体

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間:令和7年5月 対象:エステ、ネイル職員2名

内容:エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間:令和7年6月 対象:エステティック職員1名

内容:エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間:令和7年7月 対象:アロマ職員1名

内容:耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステ職員2名

内容:AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員1名・エステティック職員2名

内容:学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間:令和7年12月 対象:エステティック職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間:令和5年8月 対象:職員1名

内容:新任教職員の指導・育成力を高める/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間:令和5年9月 対象:職員1名

内容:リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間:令和5年8月 対象:職員2名

内容:専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間:令和5年10月 対象:職員8名

内容:働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<p>ているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ネイリスト専攻)2025年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気付きや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○			○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○				○	
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○			○		
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○			○		
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関する知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1前	15	○			○				○	
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1前	15	○			○				○	○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○			○				○	
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○			○		

24	○	ネイルサロン運営	授業で学んだ技術を一般のお客様に提供する特別授業です。代金をいただき外部のお客様に技術提供をすることで現場力を養います。1人のお客様を決まった時間内にカウンセリングから自宅でのアドバイスまで接客することやトラブル時の対応なども実践して学びます。また、来店頂く大切さや再来につなげるための工夫なども実践することで学びます。	2通	120	○	○	○	○				
15	○	エステティック実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1前	60	○	○			○			
25	○	アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	○	○			○	○		
26	○	ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	○	○			○			
27	○	リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15	○	○			○	○		
29	○	メイク&ヘアアレンジメント実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1前	45	○	○			○	○		
28	○	ブライダル概論	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1前	15	○	○			○			
29	○	ウェディングスタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。	1前	30	○	○			○			
32	○	カラーデコレート	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウェディングブーケや水引の技術も習得していきます。ウェディングプロジェクトで必要な会場装飾の作成やブーケなどの小物の製作を目標としています。	1前・2前	45	○	○			○			
34	○	パーソナルカラー検定対策	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2前	30	○	○			○	○		

36	○	ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けを することで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となれるよう学習します。	1 通 ・ 2 前	60	○	○	○	○
卒業要件及び履修方法			授業期間等						
合計		36科目			1710	単位時間			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。 2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全て取得。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。